

# 令和3年度学校自己評価システムシート ( 県立熊谷工業高等学校 )

目指す学校像	地域の信頼と期待に応える魅力ある工業高校
--------	----------------------

重点目標	1 確かな学力と専門的な知識・技術を身に付けたスペシャリストを育成する。 2 進路意識の向上と一人一人の希望を実現する進路指導を推進する。 3 心豊かでたくましく、規範意識を持たせ、規律ある態度を育成する。 4 積極的な地域連携により、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	10名

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 (2月1日 現在)		実 施 日 令 和 4 年 3 月 4 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校満足度調査結果から91.2%の生徒が授業は分かり易いと感じている。生徒は各学科の専門的な学習に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>生徒は各種コンテストの参加や資格取得等を通じて、専門分野の知識、技術を学ぶ意欲が高まっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の学力を把握し、学力向上に向けて取り組む必要がある。</li> <li>研究授業等を通じ授業改善を行い、学力・技術力の向上を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着及び更なる学力の向上</li> <li>専門的な知識の定着及び確かな技術の習得</li> </ul>	<p>①学校満足度調査の分析結果をもとにし、更なる授業改善を行うとともに、学習意欲の向上及び基礎学力の向上に取り組む。</p> <p>②研究授業を年3回以上実施し、授業力向上に取り組む。</p> <p>③学力診断テストを実施し、分析結果を学習指導に生かす。</p>	<p>①学校満足度調査の授業に関する項目において、肯定的な回答が90%以上を維持しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度と比較した成績優良者数、成績不振科目数の推移。</li> <li>年3回以上の研究授業を実施したか。</li> <li>学力診断テストの分析結果を学習指導に活かしたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校満足度調査(生徒)19項目中、13項目で90%以上の満足度を維持することができた。</li> <li>①「授業は分かりやすい」92.9%(0.2%増)。</li> <li>1,2学期の成績優良者の評価の平均は8.82(0.2ポイント増)。</li> <li>1,2学期の不振科目数は1.2%減。</li> <li>②コロナ禍もあり、3名の研究授業の実施のみとなった。</li> <li>③国語、数学、英語の学力診断テストを実施。一人一人の学習状況を把握し学習指導に生かした。</li> </ul>	A	<p>課題：さらなる授業改善(わかりやすい授業)、成績優良者数の増加、成績不振者数の減少が課題である。</p> <p>改善：一人一人の生徒に目を向けた授業展開、ICT等を活用するなどのわかりやすい授業への取り組みの増進を図る。</p>	<p>学校満足度調査(生徒)において、90%以上の満足度を維持していることは、教職員の取り組みの結果であり、素晴らしい。次年度も継続するように取り組んでもらいたい。</p> <p>学力診断テストの診断結果を様々な角度から分析して、更なる学力向上に生かしてもらうとともに「人間力」の育成にも力を注いでもらいたい。</p> <p>今後も、一人一人の生徒に目を向けた授業展開を行うとともに、継続して授業改善を行い、わかりやすい授業の実施に期待する。</p>
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>91.5%の生徒が進路指導行事によって進路に対する意識を高めている。</li> <li>94.1%の生徒が、本校の進路指導は自分の進路を実現してくれると感じている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業のニーズを把握し、更なる進路指導内容の工夫、改善を行う。また各大学の入試に応じた進学指導を行う。</li> <li>就職内定率100%を維持する。</li> <li>生徒の進路実現の満足度を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた進路指導の推進及び進路希望の実現</li> </ul>	<p>①企業のニーズを反映した進路指導内容の工夫、改善を行う。第1希望の就職内定率を向上させる。</p> <p>②コロナ禍ではあるが感染症防止に配慮し、生徒の希望状況を考慮した企業・大学見学を工夫しながら実施する。大学進学希望者には入試形態に合わせた進路指導を実施する。</p>	<p>①90%以上の生徒が進路指導行事によって進路意識を高めたか、就職内定率が100%となったか、前年度と比較した生徒の進路実現の満足度の推移。</p> <p>②入試形態に合わせた進路指導の実施と前年度と比較した進学決定率の推移。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度もコロナ禍の中、一人一人の希望に沿った進路を実現させることができた。</li> <li>①学校満足度調査項目「進路指導行事で意識が高まった」は89.9%(3.2%減)、「進路指導は自分の進路を実現してくれる」は95.4%(0.2%減)。しかし早期に(12/3現在)で内定率100%を実現。就職試験において1社目で合格した生徒は89.9%(2.7%増)。求人数は3376件(300件増)。公務員は7名(埼玉県庁2名、熊谷市2名、自衛隊2名、埼玉県警)。</li> <li>②四年生大学進学者は46名(1.3倍増)、専門学校進学者は27名(1.1倍増)となった。</li> </ul>	A	<p>課題：学校満足度調査から、「進路行事での意識の向上」や「進路を実現してくれる学校である」の項目で、微小だが昨年度よりも肯定的な回答の減少が課題。今後も就職率100%の維持も課題。</p> <p>改善：昨年度から続くコロナ禍で、計画通りに進路行事が行えない場面もあったが、次年度は、進路行事内容や実施形態を工夫するとともに、さらに一人一人に焦点を当てた進路指導を行う。</p>	<p>就職を希望する生徒の就職内定率100%の維持(8年連続)は、教職員の努力が感じ取れる。今後の取り組みも期待する。</p> <p>3年生による2年生への進路講話は、とても良い取り組みであるので、継続していただきたい。</p> <p>ほぼ満足のいく結果であると思う。四年制大学進学に関しては、3年生にコースを設けているが、進学先を見ても成果が充分にあらわれていると思う。</p>
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>規律ある態度を育成し、学校全体は落ち着いた状態にある。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続した協調性の育成、規律ある態度の養成が必要である。</li> <li>遅刻者数増加を防止する必要がある。</li> <li>年度当初から自転車による交通事故が発生している。</li> <li>自動二輪等における未然の事故防止に向けた取組が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間や規律を守る態度の育成及び思いやりや周囲を気遣う心の養成</li> </ul>	<p>①授業・学校行事・部活動等とおして、統一的な協調性の育成、規律ある態度の養成指導を行う。</p> <p>②全教職員で継続的な挨拶指導・遅刻者への指導に取り組む。</p> <p>③生徒指導部を中心とした自転車安全運転講習会を実施する。また生徒指導部を中心とした自動二輪等運転免許取得者への安全指導と講習会参加を徹底する。</p>	<p>①前年度と比較した学校満足度調査の規範意識状況。</p> <p>②前年度と比較した遅刻者数の推移。</p> <p>③早期に自転車安全運転講習会及び継続的な自転車点検(学期に1回)を実施したか。また前年度と比較した自転車、自動二輪等の事故件数の推移。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間や規律を守る生徒の育成について、概ね達成できた。</li> <li>①学校満足度調査項目「遅刻をしないように心がけている」では、95.0%の生徒が肯定的な回答(1.0%減)。「服装・頭髪等に関する校則を守って、身だしなみをきちんとしている」では96.5%(0.5%減)。</li> <li>②遅刻件数は、昨年度比1.4倍増(感染拡大防止に向けた9月中旬からの分散登校(県内の県立学校は全て)後に増加)。</li> <li>③自転車安全運転講習会は、7月に実施。自転車点検は、1、2学期で、各学期に1回実施。自転車、自動二輪等の事故件数については、自転車事故9件(3件増)、自動二輪車等の事故0件(1件減)。</li> </ul>	B	<p>課題：遅刻件数の減少、自転車事故件数の減少が課題。</p> <p>改善：事故は、全て登校時に発生している。遅刻と自転車事故は、関連性があると捉え、家庭と連携して時間に余裕を持った登校になるように継続して指導する。また、更に早い時期に、自転車安全運転講習会が実施となるよう実施時期を検討する。</p>	<p>重点目標の文言が具体的にになり、細かな指導ができています。今後も日々の継続した指導をお願いする。特に、交通安全については、積極的な指導を行うべきである。</p> <p>朝の挨拶運動は必要だと思う。コロナ禍で中止となったが、学校関係者(PTA等)と生徒のコミュニケーションは、大切である。</p> <p>遅刻は、生活リズムの悪化と深く関連し、常習化する恐れがあると考えられる。今後も早い段階での指導に期待する。</p> <p>自分の持ち物の管理について、更に注意する様に指導してもらいたい。</p>
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍ではあるが、感染症防止に配慮し、出前授業・公開講座・学校見学会等により開かれた学校づくりに取り組んでいる。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒募集に関する取組の精選や内容の見直しを行う必要がある。</li> <li>学校の情報を積極的に発信し、更に地域連携を強化する必要がある。</li> <li>学校情報の発信について工夫する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる地域連携及びHP等を活用した教育活動の情報発信と広報活動の推進</li> </ul>	<p>①生徒募集に関する取組の精選や内容の見直しを行う。</p> <p>②大学、専門学校、企業との連携により生徒の学習意欲を高めさせるとともに進路選択の一助とする。</p> <p>③学期に1回以上の広報紙を複数の学科で発行する。</p> <p>④安心安全メールを効果的に活用する。</p>	<p>①生徒募集に関する取組の精選や見直しを行ったか。また全学科の志願倍率が1倍以上になったか。</p> <p>②大学、専門学校、企業との連携状況。</p> <p>③学期に1回以上の広報紙を複数学科で発行したか。</p> <p>④安心安全メールの掲載内容を工夫し、学校情報発信を継続的に行ったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍ではあるが、地域連携やHP等を活用した教育活動の情報発信と広報活動等について、ほぼ達成できた。</li> <li>①全学科の志願倍率は1.00倍(1月)であった。学校説明会は、実施時期(第1回を6月に実施)や実施内容を精選して行えた。</li> <li>②コロナ禍であったため、外部との連携が難しい状況もあったが、可能な限り実施した。</li> <li>③地域に対する広報紙の発行は、複数の学科ではできなかったが、新規で12月に地域住民限定の学校見学会を実施。約37名の参加があった。</li> <li>④安心安全メールの効果的な活用として、自転車事故への注意喚起6回、生徒の学習成果(表彰)等2回(学期に1回)、新型コロナウイルス関連15回、その他10件を発信。効果的な活用ができた。</li> </ul>	A	<p>課題：さらなる志願倍率の向上が課題である。また生徒募集に係る中学校訪問の実施方法は、工夫が必要である。</p> <p>改善：遅刻、欠席等、基本的な生活習慣が確立していない生徒には家庭との連絡を密にし、粘り強い指導を行う。更に学校説会等の実施時期、内容の工夫等を検討する。また継続的に小学校、中学校と連携した上級学校訪問等の実施や地域住民対象の学校見学会等を実施し、本校の教育活動を理解していただき、将来的な本校への志願者の増加に繋げる。</p>	<p>学校説明会等の実施時期、内容の工夫等、力を注いでいただいたが、志願倍率の低下傾向は非常に残念である。熊谷工業高校の魅力をもっと発信してもらいたい。</p> <p>コロナ禍で実施が難しくなったようであるが、地域との連携、とりわけ小学生、中学生を対象とした企画の実施を行うと良いと思う。更に実施は生徒が中心となれば、生徒の成長にも繋がると思われる。</p> <p>年末に行った地域住民対象の学校見学会は、工業科の取り組みとして、ぜひ継続してもらいたい。教員が説明するのも良いが、各科の生徒が説明するなどの取り組みの方が良いのではないかと。</p> <p>学校ホームページなど、興味を示してもらいように工夫することが必要。</p>